



平成30年8月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年4月12日

上場会社名 (株)オンリー

上場取引所 東

コード番号 3376 URL <http://www.only.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 中西浩一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員経営管理本部長 (氏名) 中村直樹

TEL 075-354-4129

四半期報告書提出予定日 平成30年4月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年8月期第2四半期の連結業績(平成29年9月1日～平成30年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年8月期第2四半期	3,583	0.4	343	3.0	437	5.2	285	8.6
29年8月期第2四半期	3,568	2.0	354	4.1	461	2.4	312	5.9

(注) 包括利益 30年8月期第2四半期 285百万円 (9.3%) 29年8月期第2四半期 314百万円 (7.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年8月期第2四半期	58.58	
29年8月期第2四半期	64.51	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年8月期第2四半期	7,710	6,179	80.2	1,268.72
29年8月期	7,546	5,996	79.5	1,228.63

(参考) 自己資本 30年8月期第2四半期 6,179百万円 29年8月期 5,996百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年8月期		0.00		21.00	21.00
30年8月期		0.00			
30年8月期(予想)				25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年8月期の連結業績予想(平成29年9月1日～平成30年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,500	9.1	770	35.6	945	24.2	600	20.3	123.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年8月期2Q	5,972,000 株	29年8月期	5,972,000 株
30年8月期2Q	1,101,181 株	29年8月期	1,090,981 株
30年8月期2Q	4,872,276 株	29年8月期2Q	4,839,409 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、企業収益の回復による雇用及び所得環境の改善が見られるものの、諸外国の不安定な政治情勢、新興国の景気減速などの懸念材料が増加していることから、景気の先行きにつきましては不透明感の高い状況が続いております。

紳士服市場におきましては、スーツ着用人口が減少していることに加えて、温暖化による季節商品の販売不振など、依然として厳しい状況が続いております。

こうした状況の中で、当社グループは、「笑顔」、「感謝」、「清掃・整頓」を行動理念に掲げ、顧客満足の最大化を目指して、以下のとおり取り組んでまいりました。

まず、平成29年10月に東京本部を新設し、営業・商品本部の主な機能を京都の本社から東京本部事務所に移管しました。これにより首都圏での出店拡大とIT部門の機能強化、仕入先やPR広告会社などの取引先との関係強化に取り組んでおります。

次に、商品面につきましては、平成29年6月から発売を開始したミニマルオーダースーツの販売が堅調に推移いたしました。ミニマルオーダースーツは、「価格を超えた、価値あるスーツ」をテーマに、オーダースーツに特有のモデル仕様や細かいオプション選定の必要がなく、生産・流通に係る無駄・ロスを省いたミニマル(最小限)なオーダースーツです。納期を約2ヶ月とする早期受注システムを採用したことで計画的な生産が可能となり、独自の生産方式を導入することで、2着で税抜38,000円(1着の場合は税抜28,000円)というリーズナブルな価格で、お客様の体に合った高品質な生地のスーツを約2ヶ月でお届けすることができるようになりました。

さらに、ミニマルオーダースーツの販売方法は、これまで難しいと言われてきたオーダースーツのインターネット販売の革新を目指しております。採寸に不安感をお持ちのお客様でも、ご自宅等で当社の特製採寸メジャーを用いて簡単に自己採寸することができ、ご都合の良い時間にインターネットでどこからでも注文して頂くことが可能になりました。ミニマルオーダースーツは発売開始からインターネットと一部店舗での販売数合計で15,000着以上のご注文をいただいております。今後はテーラーメイドスーツにつきましてもインターネットを用いた販売の拡大を図ってまいります。

販売店舗につきましては、ミニマルオーダースーツの発売開始に合わせて開店したテーラーメイドスーツとミニマルオーダースーツの専門店「オンリー京都テーラー」を、平成29年10月に当社で初めて東京・銀座に出店しました。これらを含む出退店の状況は、「オンリー(オンリープレミオ、オンリー京都テーラー、オンリーウィメンを含む)」は1店舗の出店、1店舗の閉店で43店舗、アウトレット販売等を行う「スーツアンドスーツ」は2店舗を閉店して19店舗となりました。

以上により、当第2四半期連結累計期間末の当社グループの店舗数合計は62店舗となりました(前期末比2店舗減、前年同期末比増減無し)。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、テーラーメイドスーツ及びミニマルオーダースーツの販売が堅調に推移して35億83百万円(前年同期比0.4%増)となりました。

販売費及び一般管理費につきましては、ミニマルオーダースーツのWEB広告実施による販売促進費や、東京本部への人員の異動に伴う費用が増加したことにより19億42百万円(同3.7%増)となりました。

利益面につきましては、営業利益は3億43百万円(同3.0%減)、経常利益は営業外収益に受取賃貸料1億18百万円を計上しましたが、オンリーエポスカードの提携解消に伴い協賛金収入が減少したことから4億37百万円(同5.2%減)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、2億85百万円(同8.6%減)となりました。

なお、当社グループは紳士服、婦人服及び関連商品の製造・販売事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べ1億63百万円増加し、77億10百万円となりました。

流動資産につきましては、前連結会計年度末に比べ1億89百万円増加して29億77百万円となりました。主な変動要因は、現金及び預金が93百万円、売掛金が67百万円、商品及び製品が1億6百万円それぞれ増加したことによるものであります。また、固定資産につきましては、新店出店に伴う保証金の差入れにより差入保証金が48百万円増加しましたが、固定資産の減価償却が進んだことにより47億32百万円となりました。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ19百万円減少し、15億30百万円となりました。

流動負債につきましては、前連結会計年度末に比べ10百万円減少し、9億65百万円となりました。主な変動要因は、1年内返済予定の長期借入金が1億11百万円減少した一方で、買掛金が39百万円、その他流動負債が40百万円それぞれ増加したことによるものであります。また、固定負債につきましては、前連結会計年度末に比べ9百万円減少し、5億64百万円となりました。主な変動要因は、長期借入金が19百万円減少したことによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ1億82百万円増加し、61億79百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益を2億85百万円計上した一方で、前期の期末配当1億2百万円を実施したことにより、利益剰余金が1億82百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績は、概ね計画どおり推移いたしましたが、テーラーメイドスーツとミニマルオーダースーツの第2四半期末の受注済・未出荷の数量が想定以上に多かったことなどにより、売上高、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益は、期首発表値を下回ることとなりました。

第3四半期以降につきましては、「オンリー」ブランドの認知度向上やミニマルオーダースーツのインターネット販売強化のためにWEB媒体も活用した広告活動を積極的に実施していく所存です。

このように、平成29年10月12日に発表いたしました通期連結業績予想の前提となる計画に大きな変動は生じていないことから、当該業績予想の修正はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	985,735	1,079,567
売掛金	258,577	326,001
商品及び製品	1,068,477	1,175,439
仕掛品	5,043	6,455
原材料及び貯蔵品	271,692	238,204
繰延税金資産	95,388	81,619
その他	103,536	70,188
流動資産合計	2,788,451	2,977,474
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,395,537	1,434,138
減価償却累計額	△603,060	△665,732
建物及び構築物(純額)	792,477	768,405
工具、器具及び備品	701,600	721,577
減価償却累計額	△504,227	△549,058
工具、器具及び備品(純額)	197,372	172,518
土地	237,170	237,170
その他	16,781	20,501
減価償却累計額	△12,803	△13,554
その他(純額)	3,977	6,947
有形固定資産合計	1,230,998	1,185,042
無形固定資産		
投資その他の資産	64,518	61,992
繰延税金資産	96,660	95,891
差入保証金	897,955	946,354
投資不動産	2,530,595	2,530,595
減価償却累計額	△93,189	△112,321
投資不動産(純額)	2,437,405	2,418,274
その他	40,409	34,985
貸倒引当金	△10,000	△10,000
投資その他の資産合計	3,462,430	3,485,506
固定資産合計	4,757,947	4,732,541
資産合計	7,546,399	7,710,016

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年2月28日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	87,361	126,584
1年内返済予定の長期借入金	180,690	68,694
未払法人税等	124,195	151,178
ポイント引当金	65,735	65,618
資産除去債務	7,969	3,670
その他	509,938	550,095
流動負債合計	975,889	965,842
固定負債		
長期借入金	43,349	23,351
長期末払金	137,913	137,913
退職給付に係る負債	80,607	85,979
資産除去債務	181,050	186,633
その他	130,600	130,600
固定負債合計	573,519	564,477
負債合計	1,549,408	1,530,319
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,079,850	1,079,850
資本剰余金	1,212,204	1,212,204
利益剰余金	4,096,792	4,279,692
自己株式	△392,049	△392,049
株主資本合計	5,996,797	6,179,696
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	193	—
その他の包括利益累計額合計	193	—
純資産合計	5,996,990	6,179,696
負債純資産合計	7,546,399	7,710,016

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年9月1日 至平成29年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年9月1日 至平成30年2月28日)
売上高	3,568,277	3,583,980
売上原価	1,341,410	1,297,645
売上総利益	2,226,866	2,286,335
販売費及び一般管理費	1,872,372	1,942,501
営業利益	354,493	343,833
営業外収益		
受取利息	2	2
受取手数料	312	—
協賛金収入	34,758	2,593
受取賃貸料	95,853	118,440
雑収入	1,880	1,408
営業外収益合計	132,808	122,444
営業外費用		
支払利息	2,175	806
賃貸収入原価	23,681	28,190
雑損失	165	140
営業外費用合計	26,023	29,137
経常利益	461,278	437,139
特別利益		
固定資産売却益	14,762	—
特別利益合計	14,762	—
特別損失		
固定資産除却損	0	—
減損損失	452	—
特別損失合計	452	—
税金等調整前四半期純利益	475,588	437,139
法人税、住民税及び事業税	123,579	137,108
法人税等調整額	39,812	14,629
法人税等合計	163,392	151,738
四半期純利益	312,195	285,401
親会社株主に帰属する四半期純利益	312,195	285,401

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年9月1日 至 平成29年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年9月1日 至 平成30年2月28日)
四半期純利益	312,195	285,401
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	2,333	△193
その他の包括利益合計	2,333	△193
四半期包括利益	314,529	285,208
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	314,529	285,208
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年9月1日 至平成29年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年9月1日 至平成30年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	475,588	437,139
減価償却費	147,984	153,308
減損損失	452	—
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	△48,059	△116
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	2,804	5,372
受取利息及び受取配当金	△2	△2
受取賃貸料	△95,853	△118,440
支払利息	2,175	806
為替差損益 (△は益)	0	△0
固定資産売却損益 (△は益)	△14,762	—
固定資産除却損	0	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△55,999	△67,423
たな卸資産の増減額 (△は増加)	148,513	△74,886
仕入債務の増減額 (△は減少)	47,860	39,223
前受金の増減額 (△は減少)	22,519	121,264
その他	△53,981	32,717
小計	579,241	528,963
利息及び配当金の受取額	2	2
利息の支払額	△2,202	△831
法人税等の支払額	△94,331	△101,861
営業活動によるキャッシュ・フロー	482,709	426,272
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△178,906	△145,555
有形固定資産の売却による収入	123,238	—
長期前払費用の取得による支出	△14,977	—
差入保証金の差入による支出	△18,107	△48,520
差入保証金の回収による収入	5,228	73
投資不動産の賃貸による収入	95,853	118,440
その他	△18,194	△22,837
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,865	△98,399
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△131,994	△131,994
配当金の支払額	△81,815	△102,047
財務活動によるキャッシュ・フロー	△213,809	△234,041
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	263,034	93,831
現金及び現金同等物の期首残高	598,331	985,735
現金及び現金同等物の四半期末残高	861,365	1,079,567

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、紳士服、婦人服及び関連商品の製造・販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。